

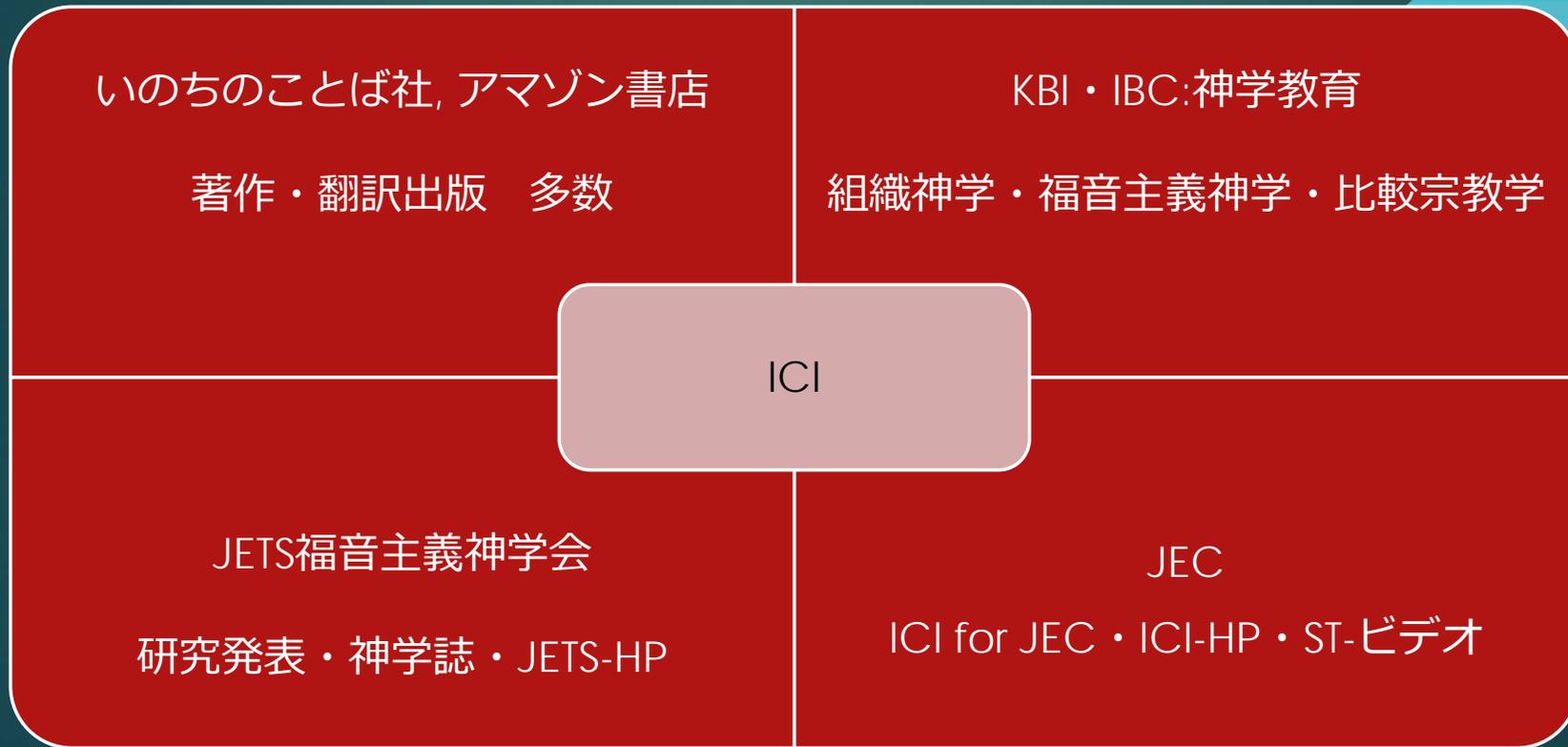
一宮基督教研究所は、兵庫県の山深い山間部にあります。しかし、その働きは、日本と世界の日本語圏の人々に広がっています。

一宮基督教研究所 紹介

What is JEC for me ?

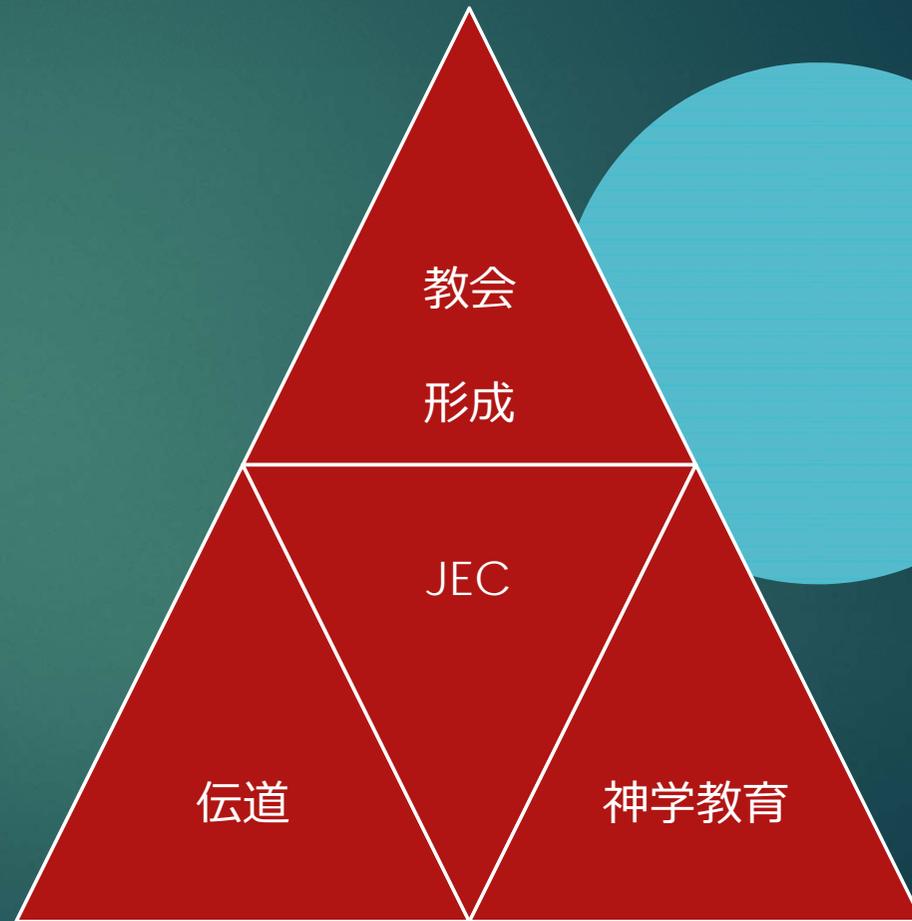
1. What is JEC for me ?
 1. 霊的な生誕地としてのJEC
 2. 養い、育てられた群れとしてのJEC
 3. 奉仕のチャンスに開かれた場所としてのJEC
2. I love Three "J" !
 1. Jesus Christ (イエス・キリスト)
 2. Japan Evangelical Churches (日本福音教会)
 3. Japan Evangelical Theological Society (日本福音主義神学会)

What is ICI ?



What is ICI for JEC ?

1. オレブロ・ミッション（現在、三派合同によりインターアクト）のパンフレットの中で、「JECは、伝道と教会形成と神学教育を整合している」と紹介。これは、JECが主力となって支えてきたKBIにおける教職者の奉仕生涯の最初の基礎神学教育への言及。
2. JEC総会資料、②伝えられた信仰の共有と発展、I – ③教職の養成等という基本路線に従い、
3. KBIとJECの群れの中で、諸先生方とともに基礎神学教育（KBI）と継続神学教育（ICI）の両面で、微力を尽くさせていただいている。
4. 特に、北欧スウェーデン・バプテスト諸教会を背景としたオレブロ・ミッション（現在は三派合同で、インターアクト）からの、そしてJEC50年の歴史に流れる中庸な福音理解の継承・深化・発展に尽力させていただいている。



How is ICI for JEC ?

取り組みの経緯・現況

1. 1980年代: 岬福音教会牧師時代: JECにおける**カリスマ的経験**と**福音主義神学**の調和の探究... 「第三の波研究シリーズ」資料
 - ▶ ペンテコステ・カリスマの福音派と福音派の保守派 の軋轢の克服、特に「異言」の「アバ意識」の派生としての“普遍的理解”は、超教派的な受け入れの可能性を秘めている
2. 1990年代: 共立基督教研究所-研修直後時代: **包括的な福音主義神学** (歴史神学) の中における**JECの位置づけ**の探究... 「JECの源流と歴史的遺産シリーズ」 「JEC Q&Aシリーズ」資料
 - ▶ JECの十字架と聖霊の特に聖化理解の背後に、W.ニーの著作。しかし、W.リーの異端問題が生起。この問題の克服に取り組む。... “Understanding Watchman Nee”。異端化の要素には、包括的な神学の視野の欠如と極端に進む傾向。著作の資料源の検討の必要。中庸思考、中道指向の大切さ。
3. 2000年代: 一宮基督教研究所-本格化時代:
 1. **包括的な比較宗教学** (宗教の神学) の中における**JECの方向性**の探究... 「How JEC シリーズ: 十戒、主の祈り、ローザンヌ誓約」 「ナイロビ声明」 ... 社会と教会の右傾化、またシャーマニズム傾向への警鐘
 2. **包括的なキリスト教神学** (組織神学) の中における**JECの福音理解とその実践**の探究... 「キリスト教神学 (翻訳)」 「基督教教理入門 (翻訳中)」 「電子メール講義録」 「ストリーミング・ビデオ講義録」 「What JEC シリーズ: 使徒信条」 ... 簡易信条型の群れであるJECにおける、アイデンティティ (教理・儀式等) の希薄化・液状化現象への対応策の検討

Where are JEC going ? : 行くべき方向の示唆

①聖書的適格性、②正統的公同性、③今日的適用性、④自己革新性を宿し、福音派全体の中において、尊敬され、評価される選択肢のひとつとしてのJECの“中庸な”福音理解とその実践の提示

- ▶ カリスマ的経験・霊の戦い等に関する中庸な理解...R.H.カルペッパー著「カリスマ運動を考える」と重要参考文献、「霊の戦いに関するナイロビ声明」➡Alan Anderson, "An Introduction to Pentecostalism"
- ▶ JECの十字架と聖霊と宣教のメッセージを、包括的な歴史神学の中の中庸の道筋に位置づけていくこと...宇田進著「福音主義キリスト教と福音派」➡Steven Barabas, "So Great Salvation"
- ▶ JECの福音理解（聖書解釈方法論・聖書論・神論・人間論・キリスト論・聖霊論・救済論・教会論・終末論）を、包括的な組織神学の中の中庸なラインで深化・発展させていくこと...エリクソン著「キリスト教神学」➡Millard Erickson, "Introducing Christian Doctrine"（翻訳中）、G.E.Ladd, "The Last Things"（まもなく刊行）、"The Young Church"、"I Believe in Resurrection of Jesus"等の著作の翻訳出版も検討中。

G.E.Laddの名言

真理は、
中庸にあり!

